

モンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乗経』について

嘉木揚 凱 朝

キーワード

モンゴル仏教、聖阿弥陀仏の大乗経、アミダボルカン

はじめに

『阿弥陀経』のサンスクリット語・漢訳・日本語訳・チベット語訳などに関する研究は、日本で詳細に行われている。例えば、日本での研究者を上げると、南条文雄・矢吹慶輝・荻原雲来・河口慧海・寺本婉雅・藤田宏達などがある^①。最近の研究としては、同朋大学の畝部俊英教授の〈『阿弥陀経』依報段試解〉によれば、『阿弥陀経』の梵・漢・藏に巴まで加えて関係する諸経典が90種近くを数えるという^②。しかし、モンゴル語訳『阿弥陀経』については、今日まで研究されてこなかった。皆無であるといっても過言ではないであろう。

モンゴルの地では、古くから阿弥陀仏が信仰されてきた。モンゴル人が阿弥陀仏を信仰し供養する理由は、阿弥陀仏は、モンゴル人にとって、人間の寿命を延ばすことができる仏であると、強く信じられているからである。昔から、毎年、僧侶を自宅に招き、自分の父母の延命長寿のために、阿弥陀仏に関する経典による法要を依頼する習慣が、今日でも広く行われている^③。

私が、ここでモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乗経』(Qutugtu Amida Borqan u-yeke külgen sodor orusibai)^④を研究するのは、以上の立場に立ったからである。

このモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乗経』は、実はブルジキン・エルキムバツ (Borjiqin Erqimbatu) 氏が、漢訳からモンゴル語に翻訳したものである。出版は、1993年に北京師範大学出版社となっている。このモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乗経』を入手することができたのは、中国北京雍和宮(モンゴル仏教)の法師ダムチョウジャルサン (Dam chos rgyal mtshan) との縁によるものである。ダムチョウジャルサン師によると、このモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乗経』は、中国内モンゴル自治区シリングゴル(錫林浩特)盟出身のブルジキン・エルキムバツ氏の手になるものであり、氏が北京雍和宮を参拝した時、贈呈されたものである。現段階では、この『聖阿弥陀仏の大乗経』以上に古いものを入手する

ことができないため、取り敢えずこの經典に基づいて日本語訳を試みた。このモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乘経』は、チベット語訳『阿弥陀経』から翻訳したものではなく、上述の如く漢訳『阿弥陀経』からモンゴル語に翻訳したものである。

元来の漢訳『阿弥陀経』には、モンゴル語訳にある『聖阿弥陀仏の大乘経』という名称が見られない。チベット仏典では、殆どの經典の題目は、「聖 (hpags pa)」で始まっている場合が多い。だから、訳者がこの經典を翻訳する時、チベット仏教の影響を受けて、態々「聖 (qutugtu)」を付けたと考えられる。

また、モンゴル語訳『阿弥陀経』に「聖 (qutugtu)」を冠した根拠として、次の事柄がある。

鳩摩羅什 (Kumārajīva 344-413 または 409 頃) は、一生で 390 部以上の仏典を翻訳したとされる。鳩摩羅什が、臨終の時、多くの弟子たちに、

kerba bi borqan u- nom ki borugu orgigulugsan ügei bol nada qi sitagaqu üye du minu kele ese sitaqa boltugai ⁶⁵..

もし私が、仏の教えを間違いなく訳すことができているならば、私を火葬した時、私の舌は燃えないであろう。

と言った。鳩摩羅什が亡くなって、仏教の火葬の規則によって火葬が行なわれた。屍体は全部燃えたが、舌だけはそのまま残ったという。だから、鳩摩羅什が訳した『阿弥陀経』は、間違いがなかったと考えて、真理を現わす「聖」を冠に加えたものと思われる ⁶⁶。

チベット語訳『阿弥陀経』の中の阿弥陀仏の「仏」を、チベット語でデッシンシクパ (De bshin gségs pa=tathāgata) ⁶⁷ いうが、デッシンシクパは如来をいう。しかし、モンゴル語訳『阿弥陀経』の中の阿弥陀仏は、アミダボルカン (Amida Borqan) と直訳されている。つまり、アミダボルカンは阿弥陀仏である。これはモンゴル語訳『阿弥陀経』が、チベット語訳からの翻訳でないことを示す証左である。

中国語と日本語でいう阿弥陀仏の浄土である極楽世界を、チベット語訳ではデバジャン (bDe ba can 極楽世界) といい、喜びがあるという意味を表す ⁶⁸。モンゴル語訳では、円満で幸せに満ちた国土 (tegüs jirgalangtu orun= Sukhāvātī lokadhātuḥ 極楽世界) という意味を表わす。これも同様にチベット語訳からの翻訳でないことを示す証左であると考えられる。

モンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乘経』の研究作業としては、まず鳩摩羅什漢訳の『仏説阿弥陀経』⁶⁹ を掲げ、次にブルジキン・エルキムパツ氏のモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乘経』の全文をローマ字表記しながら、日本語訳に翻訳した。ローマ字表記の後に () 入れて対応する頁数：段、左からの行数を示した。このモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乘経』の原本全文を本研究の末尾に採録した。日本語の訳文の () 中のローマ字表記は、モンゴル語やサンスクリット語である。また [] は、原文にない語句を補うことを示す。

『佛説阿彌陀經』
姚秦三藏法師鳩摩羅什奉詔訳

**Qutugtu Amida Borqan u-yeke külgen sodor orusibai
You cin nu üye in gorban saba nom un bagsi Kumarasi
orcigoljai.**

『聖阿彌陀仏の大乗経』

姚秦時代の三藏法師鳩摩羅什が訳す

[1. 説法の道場]

如是我聞。一時佛。在舍衛国。祇樹給孤獨園。與大比丘僧。千二百五十人俱。皆是大阿羅漢。衆所知識。長老舍利弗。摩訶目乾連。摩訶迦葉。摩訶迦旃延。摩訶拘絺羅。離婆多。周利槃陀伽。難陀。阿難陀。羅睺羅。憍梵波提。賓頭盧頗羅墮。迦留陀夷。摩訶劫賓那。薄拘羅。阿菴樓駄。如是等。諸大弟子。竝諸菩薩摩訶薩。

minu sonusogsan yir tere cag dur Borqan Šewi olus nu Sisogi güntü gürileng dü.. (20IV5 — 6)
yeke gelong qowarag nu qamtu mingga qoyar jagu tabi coglarajai.. (20V4 — 5)

degedü siditen ece Šaribudari Mahakasya Modagaljibo Mahakadyayana Rabjid Bagula Anirüdla Ananda Cibanbuti Günggabü Rahüla Badirlagci Jürig jamci [Maha] üpali Kaliudayi Mahajibina iimu olan yege šabi nar bajjai. basa olan Bodisatba mahasatba nar bajjai.. (21IV34 — 38)

私が聞いたところによれば、その時釈尊 (Borqan) は、舍衛国の祇園精舎 (祇樹給孤獨園、歡喜園) において、大比丘がすべてで 1250 人集まった⁽¹⁰⁾。[集まった大比丘は]すべて大阿羅漢であったから⁽¹¹⁾、一切に精通していた。

長老の舍利弗 (Śāriputra)、摩訶目犍連 (Mahāmaudgalyāyana)、摩訶迦葉 (Mahākāśyapa)、摩訶迦旃延 (Mahākātyāyana)、離婆多 (Revata)、薄拘羅 (Rāhula)、阿尼樓 (Aniruddha)、阿難陀 (Ānanda)、憍梵波提 (Gavāmpati)、難陀 (Nanda)、羅睺羅 (Rāhula)、賓頭盧頗羅墮 (Piṇḍola-Bharadvāja)、周利槃陀伽 (Cūdapanthaka)、摩訶俱絺羅 (Mahākauṣṭhila)、迦留陀夷 (Kāḷodayin)、摩訶劫賓那 (Mahākapphiṇa) [など]、このような多くの大弟子⁽¹²⁾ がいた。その他多くの菩薩と摩訶薩などがいた。

文殊師利法王子。阿逸多菩薩。乾陀訶提菩薩。常精進菩薩。與如是等。諸大菩薩。及釋提桓因等。無量諸天。大衆俱。

Manžusari nom nu qagan ayida (meiter) Bodisatba Gndakadi Bodisatba qalasiral ugei jidgugci Bodisatba edeger jerge in yege Bodisatba nar baina.. (22 I 16 · 17 · 21 – 23 · 35)

basa Qormusta tegri jerge togalasi ugei tegri nar qamtu baijai.. (22 II 37 · 41 · 42)

[すなわち] 文殊師利 (Mañjuśrī) 法王⁽¹³⁾、阿逸多 (Ajita 無能勝) 菩薩、乾陀訶提 (Gandhastin) 菩薩、常精進 (Nityodyukta) 菩薩などの大菩薩であった。

また釈提桓因 (Śakro devānām Indrah 帝釈天) などの無数の諸天も、一緒におられた。

[2. 極楽の風光]

[極楽の位置]

爾時佛告。長老舍利弗。從是西方。過十万億佛土。有世界。名曰極樂。其土有佛。号阿彌陀。今現在說法。

tere cag dur Borqan bagsi akamad šabi Šaribudari tur ügülerün.. (22 V 16 · 17)

ürüne jüg dü arban domen dongsiqor yirtinju baiqu ni tegüs jirgalang nu orun boluna..

tere borqan nu orun tu nigen Amita geteg cola tai Borqan otu yag saiqa nom nomlaju baidag.. (22IV42 – 45 · V51 – 53)

その時釈尊が、長老である舍利弗に言われた。

西方に 10 万億の仏土を越えると、そのような一つの世界があって、円満で幸せに満ちた国土 (極楽世界) になっている。

その仏の国土に、一阿弥陀 (nige Amida) といわれる仏がおられ、今、丁度、説法しておられる。

[極楽の由縁]

舍利弗。彼土何故。名為極樂。其國衆生。無有衆苦。但受諸樂。故名極樂。

Šaribudari e tere orun nu gümün ki yagakigad tegus jirgalang nu orun geteg boi tere olus nu gümün amitan tu yamar cu gasalang jobalang baidag ügei mün basa bürin jirgal ki edeldeg dola tegüs jirgalang geju nereidcai.. (23 I 12 – 17)

舍利弗よ、その国土をどうして円満で幸せに満ちた国土と呼ぶのか。その国土の生きとし生けるものには、悲しみも、苦しみも何もない。ただ、いろいろの楽しみだけを受けているので、円満で幸せに満ちた [国土] と呼ばれる。

[四宝七重の並木]

又舍利弗。極樂國土。七重欄楯。七重羅網。七重行樹。皆是四寶。周匝圍繞。是故彼國。

名曰極樂。

Šaribudari e tegüs jiragalangtu orun tu dologan daqur gereske tai dologan daqur tuur tai dologan daqur jigteregeesen motu tai.. бүгүн yinr yin dürban juil nu erteni ber бүрildүgsen jimseg yinr гүриyeleju baimoi.. (23IV18 – 23)

舍利弗よ、円満で幸せに満ちた国土は、7重の欄楯に取り巻かれ、7重の羅網に取り巻かれ、7重の並木（行樹）に取り巻かれ、[それらは]すべて4種の宝でできている。

又舍利弗。極樂國土。有七寶池。八功德水。充滿其中。池底純以。金沙布地。

Šaribudari e tegüs jiraganu un orun tu erteni in dologan nagur tai naiman aci ertem un osu tai nagur un totura ni osu bar bilqaraju iruqar duni ceber alta qomog yir debiscei.. (23V8 – 12)

舍利弗よ、円満で幸せに満ちた国土には、7種の宝石の池があり、8功德の水があり、池の中は、水で充滿し、[その]底には、金の砂のみが敷かれている。

[七宝の池と蓮華]

四邊階道。金銀瑠璃。頗梨合成。上有樓閣。亦以金銀瑠璃。頗梨車璫。赤珠碼磔。而嚴飾之。池中蓮華。大如車輪。青色青光。黃色黃光。赤色赤光。白色白光。微妙香潔。舍利弗。極樂國土。成就如是。功德莊嚴。

nagura un dürben tala bar ni jam baidad alta münggu gügemdug qas sil bolor yir бүтүgejei dagere tala tuni asar tagtu mün cu alta münggü gügemtüg qas sil bolor labai olagan sobod manu-bar cimeglejai.. (24 I 15 – 20)

nagur un toturaqi badama ceceg ni tergen kurtu metu yeke telgerejü.. koge üngge ece koge genel sacuraju sira üngge ece sira genel sacuran olagan üngge ece olagan genel sacuragad cegan üngge ece cagan genel manduqu bar baraqu ugei sonin saiqan arigün ceber angqilumal ünür qanguglana.. (24 I 41 – 48)

Šaribudari e tegüs jiragalang un orun bol teimü бүтүmjitei.. i-mü aci erdem yir tarqan cimeg tei baidag baina.. (24III31 – 33)

池の四辺には、道があり、金、銀、瑠璃、ガラスでできている。上に樓閣があり、すなわち、金、銀、瑠璃、ガラス、珊瑚、赤真珠、瑪磔で飾られている。

池の中の蓮の華は、車輪のように大きく咲いている。青色の光から青色の光が光っている。黄色の光から黄色の光が光っている。赤色の光から赤色の光が光っている。白色の光から白色の光が光っている。それだけでなく、素晴らしい香りが薫っている。

舍利弗よ、円満で幸せに満ちた国土は、そのように成就されている。このような功德によって美しく莊嚴されている。

[黄金の大地に降る曼荼羅の花]

又舍利弗。彼佛国土。常作天樂。黄金為地。昼夜六時。而雨曼陀羅華。其國衆生。常以清旦。各以衣祴。盛衆妙華。供養他方。十萬億佛。即以食時。還到本國。飯食經行。舍利弗。極樂國土。成就如是。功德莊嚴。

Šaribudari e teregü ulus orun tur ürgulji tegri in egesig dagürisumoi.. sira alta bar gajar ki debiscei.. edür süni in jirgügan cag dü mandarba ceceg un qora baguju baidag .. (24IV15 · 16 · 31 · 46 · 47)

tere oron u-kümüs kejiyede ürlüğe erte bosumagca kümün büri qobcasun dagan olan saiqan angqilumal ünürtü ceceg aqugulju.. arban jüg un arban tümen düngsigur Borqad dur ergüged qogula idekü degen tos orun dagan bocaju iremöi.. (24 V 21 – 26)

qogula ban jogoglagsagar nom yin bisilgamoi.. (25 II 28 – 29)

Šaribudari e tegüs jiragalang un orun tu bütümji burin yir yin aci erdem un cimeg bolai.. (25 III 8 – 10)

舍利弗よ、その国土では、常に天の音楽が演奏されている。

大地には黄金が敷き詰められている。昼と夜の6度[に分けて]、曼荼羅の花の雨が降る。

その国土の人々は、早朝に起きるといつも、衣服に、美しく香ぐわしい花をたくさん盛って、十方の10万億の仏に供養する。そしてそれを、食事の時⁽⁴⁴⁾に自分の国土に帰って帰る。食事が終わると、法を修行する。

舍利弗よ、円満で幸せに満ちた国土は、完璧に成就された功德で美しく飾られている。

[優美な鳥の声]

復次舍利弗。彼國常有。種種奇妙。雜色之鳥。白鵠孔雀。鸚鵡舍利。迦陵頻伽。共命之鳥。是諸衆鳥。昼夜六時。出和雅音。其音演暢。五根五力。七菩提分。八聖道分。如是等法。其土衆生。聞是音已。皆悉念佛念法念僧。

basa daqin Šaribudari e tere orun tu basa olan türül un sonun gaiqamsigtai unge büri in jikürten baidad.. cagan toguru-togus toti tegelei (jagun keltu) galbingga qo-s medeldü jarge baidag.. edeger olañ jigürten edür süni tonggutuna tedeger egesig ayalgu ni tabun erketen tabun küjü bodi in dologan ilgal naiman qutug un yosu ucir jerge ki nomldag baina.. (25IV1 – 11)

tere orun u-amitan bukun ayalgu qi sonusbasu bükün yir yin Borqan erdeni nom erdeni qowarag edeni ki sanigajadag bülüge. (26 III 18 – 20)

また次に、舍利弗よ、その国土には、また種々の珍しい色の鳥がたくさんいる。[それらは]白鳥、孔雀、鸚鵡、百舌鳥⁽⁴⁵⁾、妙音鳥 (galbingga 迦陵頻伽)、命命鳥などである。これらの鳥は、昼と夜とに6度⁽⁴⁶⁾、優美で、調和のとれた声で鳴く。それらの優美で調和のとれた声は、5つのすぐれた働きできる五根五力や、悟りに役立つ七菩提分、八聖道の道

理などを説き明かしている。

その国土の一切の衆生は、[これらの鳥の] 声を聞けば、すべて、仏宝・法宝・僧宝を念じることになる。

舍利弗。汝勿謂此鳥。實是罪報所生。所以者何。彼佛國土。無三惡趣。舍利弗。其佛國土。尚無三惡道之名。何況有實。是諸衆鳥。皆是阿彌陀佛。欲令法音宣流。變化所作。

Šaribudari e ci edeger sibagud ki nigül qilince in erke ber atugusu amitan tu oruju jayagala geju üjeju ülü boluna, terekü Borqan u- orun tu gorban maqu jayaga baidag ügei yom.. Šaribudari etere borqan u- orun tu magu jayagan u- neres basa baiqu ügei baitala kerqin deimu kereg baiju bolqu boi? yag ünene ki kelebel tedeger sibagu nugud Amida Borqan mün.. borqan u- nom ki nomlaqu ulamjilaqu šagardalga ece bolju teimu kelbari ber qobirajai.. (26V8 – 18)

舍利弗よ、あなたはこれらの鳥を罪業の報いで動物に生まれたものと考えてはならない。なぜならば、それらの仏の国土には、三悪道はあり得ないからである。舍利弗よ、その仏の国土には悪趣ということばさえないのに、どうして、それらが実体としてあるわけがあるのか。実のところを言えば、それらの鳥たちは阿彌陀仏である。仏の教えを説き、継承し、広めようという考えから、そのような姿が造り出されているのである。

[妙なる風の音]

舍利弗。彼佛國土。微風吹動。諸寶行樹。及寶羅網。出微妙音。譬如百千種樂。同時俱作。聞是音者。皆自然生。念佛念法念僧之心。舍利弗。其佛國土。成就如是。功德莊嚴。

Šaribudari e tere Borqan u- orun tu tedeger erdeni in motu erdeni in to-r eyebarkü- salqi namuquqan üliyemegce tekün ece sonin gaiqamsigtu egesig ayalqu sonordaju yag saiqan jagu minggan jüil un kügim qamtu kügimdekü metü.. tere kügim ki sonosugsagar borqan nom qowarag gprban erdeni ki dorasun situmoi.. (26V6 – 13)

Šaribudari e tere borqan u- orun tu teimu yege bütümjitali aci ertam un cimeg boluna.. (27I1 – 3)

舍利弗よ、その仏の国土には、それらの宝の樹があり、宝の羅網を動かし、風が穏やかに吹いている。それより珍しい、美しい調和のとれた音が聞こえることは、例えていうならば、幾百、幾千種類の音楽が同時に演奏されているようなものである。その音楽を聞いていると、[みな、自然に] 三宝である仏を念じ、法を念じ、僧を念じて帰依するのである。

舍利弗よ、その仏の国土は、そのような大成就された[阿彌陀仏の] 功德による莊嚴で飾られている。

[阿弥陀佛と呼ぶ理由]

舍利弗。於汝意云何。彼佛何故。号阿弥陀。舍利弗。彼佛光明無量。照十方國。無所障礙。是故号为阿彌陀。

Šaribudari e cinu totura yagun ki sedkijü baiga boi? tere Borqan ki yagun u- ucir ece Amirda gedeg boi? (27 I 20 – 22)

舍利弗よ、あなたの心の中で何を考えているのか。その仏をどうして阿弥陀と呼んでいるのか。

又舍利弗。彼佛壽命。及其人民。無量無邊。阿僧祇劫。故名阿彌陀。舍利弗。阿彌陀佛。成佛已來。於今十劫。

Šaribudari e tere orun bol caglasi ugei sacurangui gereltai arban jüg un orun ki geikülküi dü yamar cu sagad qarasi ügei ece amida kemen colalabai.. (27 II 21 – 24)

Šaribudari e tere Borqan u- nasun qotug bolun tegü u- arad dümen ni togalasi ügei asangqi kalba tai tengcene.. i-mu ece Amida Borqan geju nereidcei.. (27 III 33 – 36)

Šaribudari e Amida Borqan Borqan bolugsan ece abugad odu boltala nigenta arban kalba bolbai.. (28 II 2 – 4)

舍利弗よ、その国土には限りのない光明があつて、十方の国土を照らしても、絶対に障碍されないことから、阿弥陀と名づけられたのである。

舍利弗よ、その仏の寿命と、そこ [阿弥陀仏の国土] に生きる人々の寿命は、無限永遠の阿僧祇劫に相当する。だから、阿弥陀仏と名づけられた。

舍利弗よ、阿弥陀仏が成仏してから今まで、既に十劫という永遠の時間を経ている。

[声聞の弟子と菩薩たち]

又舍利弗。彼佛有無量無邊。声聞弟子。皆阿羅漢。非是算数。之所能知。諸菩薩衆。亦復如是。舍利弗。彼佛國土。成就如是。功德莊嚴。

Šaribudari e tere borqan tur toganotmsi ügei olan šrawaka (sonurdagci) šabi nar baiqu ni bükün yir yin arhad bolai, tekün u- toga qi medekü in arga ügei bolai.. (28 II 25 – 28)

Bodisatba nar ki basa togalagad baraqu ügei.. (28 III 36 – 37)

Šaribudari e tere Borqan u- orun tu amjilta tükü reng ni aci tosa in cimeg borai.. (28 III 42 – 43)

舍利弗よ、その仏には、数を数えても数え尽くすことができないほど多くの声聞の弟子がいて、すべてが阿羅漢である。その数を知る方法がない。菩薩たち [の数] も同様に数え切れない。

舍利弗よ、その仏の国土を、円満成就した功德によって莊嚴しているのである。

[極楽に生まれたものたちとは]

又舍利弗。極樂國土。衆生者。皆是阿鞞跋致。其中多有。一生補處。其數甚多。非是算數。所能知之。但可以無量無邊。阿僧祇劫說。

Šaribudari e degüs jirgalang un orun du ociju mendülekü olan amitan nogud qagas jam ece oqoriju bocaqu ucir yabodal baiqu ügei.. (29 I 1 – 4)

tegün u- totura ni ene türül degen nügübürilegsen ni ali olan baidag tegun ki toga bar togalaqu arga ugei yom.. gagca togalasi ügei qijagalasi ügei asangqi kalba bar kemjikä le kereg.. (29 II 21 – 25)

舍利弗よ、円満で幸せに満ちた国土に往生する多くの生きとし生けるものは、[修行の]道の途中から後退して戻ることがない。

その中には、今生において一生補處を得たものがたくさんいる。それを数える方法がない。唯一 [の数え方] は、無数・無量・阿僧祇劫である永遠の時間によって量る方法しかない。

[3. 極楽往生の条件]

舍利弗。衆生聞者。應當發願。願生彼國。所以者何。得與如是。諸上善人。俱會一處。

Šaribudari e olan amitan egün ki sonusbasu erkebsi irügel talbiju tere orun tu ociju mendülekü gi joritugai.. (29 V 14 – 16) kerqin yimu boldag aji.. olan boyantai kümüs nigele qamtu coglaragsan u- ocir bolai.. (30 I 41 – 42)

舍利弗よ、多くの衆生は、これ [阿彌陀仏とその極楽の国土の在り様] を聞くならば、必ず発願して、その国土に往生したいと決意するものである。何故、このようになるかといえは、多くの福德がある人々と一緒に集まること (俱会一処) ができるからである。

舍利弗。不可以少善根。福德因縁。得生彼國。

Šaribudari e tere orun tu ociju türükü kümün sain u- ündüsü boyan u- eerdem un üre siltagan megüs baiju ülü boluna.. (30 II 25 – 28)

舍利弗よ、その国土に往生する人が善根と福德功德の因縁は、悪くてはいけない。

[名号を保つ人は]

舍利弗。若有善男子善女人。聞說阿彌陀佛。執持名号。若一日。若二日。若三日。若四日。若五日。若六日。若七日。一心不亂。

其人臨命終時。阿彌陀佛。與諸聖衆。現在其前。是人終時。心不顛倒。即得往生。阿彌陀

佛。極樂國土。

Šaribudari e tedeger sūsügtei eregtei itegeltü emegtei amida borqan u- nom ki sonusugad kerbe nige edür qoyar edür gorban edür dürben edür tabun edür jirgugan edür dolugan edür nere gi ni duratun ongsigad sedkil ni jigaqan cu ülü samaguraqu.. (30IV7 – 13) ene kümün nasu nü gçikü üye tü Amirda Borqan ba olan Bodisatba bogda nar tekün u- emune ni ilerene.. (31 II 16 – 18) kümün nasu nügçikü üye dü sedkil samaguraqu ügei bol erkebsi Amida Borqan u- tegüs jirgalang un orun tuociju mendülene.. (31 III 13 – 15)

舍利弗よ、それらの信仰がある男子（善男子）と帰依がある女子（善女子）は、阿弥陀仏の法を聞いて、[阿弥陀仏の名を称えるのは] 例えば一日、二日、三日、四日、五日、六日、七日、名号を念じて、読誦して、心が少しも散乱しないならば、この人の臨終に際し、阿弥陀仏ともろもろの聖なる菩薩たちが⁴⁷⁾、その[人の]前に現われる。

[その]人は、命が終わる時に心が動揺したりすることがないから、必ず阿弥陀仏の円満で幸せに満ちた国土に往生する。

舍利弗。我見是利。故説此言。若有衆生。聞是説者。應當發願。生彼國土。

Šaribudari e bi üjebel yegele tosatai.. egün u- tola ingqiju nomlabai.. ene üge ki sonusogcid erkebsi yege irügel talbiju sigudbasu tere orun tu mantülejü cidamoi.. (31 V 9 – 13)

舍利弗よ、私（釈尊）には、考えてみると大変素晴らしい利益があると思われる。だから、このように、[念仏の功德を] 説いたからである。この教えを聞いた人々は、大きな願を起こして決意するならば、必ずその国土に往生することができる。

[4. 発願と信のすすめ]

[釈尊自ら証悟して発願をすすめる]

舍利弗。如我今者。讚歎阿彌陀佛。不可思議功德。

Šaribudari e bi edüge Amida Borqan u- sedkisi ügei aci erdem un aci tosa gi magtagad barasi ügei..⁴⁷⁾ (32 II 36 – 38)

舍利弗よ、私（釈尊）は、いま、阿弥陀仏の不可思議である功德の利益をどれほど称讃しても称讃し尽くせない。

[東方の諸仏による阿弥陀仏の称讃]

東方亦有。阿閼鞞佛。須彌相佛。大須彌佛。須彌光佛。妙音佛。如是等。恒河沙数諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧三千大千世界。説誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功

徳。一切諸佛。所護念經。

duruna jüg un Akasubquwa Borqan Sümbür kelberitü Borqan Yege sümbür Borqan Sümbür gereltü Borqan sain dagutu Borqan jerge gangga müren u- qomug sig togalasi ügei Borqan ba-idag.. (32III10 – 14)

tede über un olus dagan ürgeu urtu kele ilereged gorban minggan yege minggan yirdinju ki bürgüju cudadag baina.. (32IV14 – 17)

nomlagnan üneden bodatai nom ki tan jerge in olan amitan enekü sedkigdesi ügei magtagaltu aci erdem ki idegebel aliba Borqan cinu ongsilga gi qamagalaqu boluna.. (32V41 – 44)

東方には、阿閼鞞仏、須彌相仏、大須彌仏、須彌光仏、妙音仏など、ガンジス河の砂のように無数の仏がいる。それら【の仏たち】は、おのおのの国土において広長舌している。【広長舌の仏の説法は】あまねく三千大千世界を覆うことができるという。生きとし生けるものすべてが、仏が説く真実の法や、このような不可思議で称讃されている功德を信じれば、すべての仏が、あなたが念誦している【阿弥陀】経を護持する。

[南方の諸仏による阿弥陀仏のすすめ]

舍利弗。南方世界。有日月燈佛。名聞光佛。大焰肩佛。須彌燈佛。無量精進佛。如是等。恒河沙数諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。說誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

Şaribudari e emüne jüg un yirtincüs dü Nara sara gereltü Borqan Nere ben sonurdagulugci gereltü Borqan Yege galtu mürütü Borqan Sümbür jolatu Borqan Qijagalasi ügei qiciyenggiü Borqan gangga müren u- qomug tai adali toga tomsi ügei borqad.. ejelegsen ele orun dagan ürgeu urtu kele be ileregülju gorban minggan yege minggan yirtinju ki bürgüju üneden yosutai üge ki kelejü.. tan sig olan amitan sedkigdesi ügei aci erdem ki magtan saisiyagnan ki idegebel aliba Borqad nom ongsidag kümüs ki qamgalana.. (33II5 – 16)

舍利弗よ、南方世界には、日月灯仏、名聞光仏、大焰肩仏、須彌灯仏、無量精進仏など、ガンジス河の砂のように無数の仏がおり、それぞれの国土において広長舌している。【広長舌の仏の説法は】あまねく三千大千世界を覆っている。生きとし生けるものすべてが、真実の理法や、不可思議な誉め称えられている功德を信じれば、すべての仏が、法を念誦する人々を護持する。

[西方の諸仏による阿弥陀仏の称讃]

舍利弗。西方世界。有無量壽佛。無量相佛。無量幢佛。大光佛。大明佛。宝相佛。淨光佛。如是等。恒河沙数諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。說誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

Šaribudari e baragun jüg un olan yirtinjü dü qijagalasi ügei Nasun qutuqtu Borqan Qijagalasi ügei dürsütü Borqan Qijagalasi ügei cimegtü Borqan Yege gereltü Borqan Yege ber geigülgü Borqan Erdenis un dürsütü Borqan Arigun gereltü borqan baidag.. tedeger gangga müren u- qomug sig olan Borqad.. tos olus dagan ürgeu urtu keke ben gargaju gorban minggan yege minggan yirtinjü ki bürgüjü ünenci bodatai üge ber.. tansig olan amitan ki idgan sorgaju sedkigdesi ügei aci erdem ki magtan saisyagsan ki itegekü geregtei nom ongsigcid ki aliba Borqad qamagalana.. (33III 7 – 20)

舍利弗よ、西方世界には、無量寿仏、無量相仏、無量幢仏、大光仏、大明仏、宝相仏、浄光仏がいる。それらのガンジス河の砂の数のように無数の諸仏が、それぞれの国土において広長舌している。[広長舌の仏の説法は] あまねく三千大千世界を覆っている。真実の言葉で、すべての衆生に説法している。不可思議で誉め称えられている功德を信じれば、すべての仏が、法を念誦する人々を護持する。

[北方の諸仏による阿弥陀仏の称讃]

舍利弗。北方世界。有焰肩部最勝音佛。難沮佛。日生佛。網明佛。如是等。恒河沙数諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。説誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

Šaribudari e umara jüg un yirtinjüs dür Gal mürütü Borqan Qamog sain dagutu Borqan qijagarlagdasi ügei Borqan Nara urguqu Borqan Tour un gereltü Borqan jerge gangga müren u- qomug un toga sig olan Borqad tos tos un olus yin ejelen ürgeu urtu keke yege gorban minggan yege minggan yirtinjüs ki bürgüged ünenci sitorgu üge ber.. tan sig olan amitan sedkigtesi ügei aci erdem ki magtan saisyagsan ki itegebel.. aliba Borqad nom ongsidag kümüs ki qamagalana.. (33IV 17 – 30)

舍利弗よ、北方世界には、焰肩仏、最勝音仏、難沮仏、日生仏、網光仏などがある。それらのガンジス河の砂のように無数の諸仏は、それぞれの国土を治めて、広長舌している。[広長舌の仏の説法は] あまねく三千大千世界を覆っている。生きとし生けるものすべてが、説かれた真実の法や、不可思議で誉め称えられている功德を信じれば、すべての仏が、法を念誦する人々を護持する。

[下方の諸仏による阿弥陀仏の称讃]

舍利弗。下方世界。有師子佛。名聞佛。名光佛。達摩佛。法幢佛。持法佛。如是等。恒河沙数諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧三千大千世界。説誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

Šaribudari e दौरa tala in yirtinjü in Arsalangtu Borqan Aldartu sonurdugci Borqan Aldartu ger-

eltü darma Borqan Nom un cimegtü Borqan Nom ki barigci Borqan edeger jerge in gangga müren u- qomug un doga sig olan Borqad.. tos tos un olus dagan ürger urtu kele be gorban minggan yege minggan yirdincüs ki bürgüjü.. cigci sitorgu üge ber.. tan sig olan amitan nugud magtagal saisiyaltai sedkigtesi ügei aci erdem ki idegeljeju boyan u- nom onsgicid ki aliba Borqad qamagalana.. (33 V 48 – 34 · I 1 – 10)

舍利弗よ、下方世界には、獅子仏、名聞仏、名光仏、達摩仏、法幢仏、持法仏などがある。それらのガンジス河の砂の数のように多くの仏が、それぞれの国土において、広長舌して、[広長舌の仏の説法は] 三千大千世界を覆っている。生きとし生けるものすべてが、説かれた真実の法や、不可思議で称讃されている功德を信じれば、すべての仏が、福德の法を念誦する人々を護持する。

[上方の諸仏による阿彌陀仏の称讃]

舍利弗。上方世界。有梵音佛。宿王佛。香上佛。香光佛。大焰肩佛。雜色寶華嚴身佛。娑羅樹王佛。寶華德佛。見一切義佛。如須彌山佛。如是等。恒河沙数諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。說誠實言。汝等衆生。當信是稱讃。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

Šaribudari e degere tala in yirdinjü tu Barhaman dagutu Borqan Odun orun u- qagan Borqan Angqilumal degedü Borqan Angqilumal gereltü Borqan Yege gal un mürütü Borqan Alag erdeni in ceceg yir cimeglegsen beyetü Borqan Baqi motun qagan Borqan Erdeni in ceceg un erdemtu Borqan Aliba gi tolilagci Borqan Sümbür agula sig Borqan.. edeger jerge in gangga müre u- qomug sig olan borqad tos tos un olus dagan ürger urtu kele ber yin gorban minggan yege minggan yirdinjü gi bürgügeded cigci sidurgu üge ber.. olan amitan ki sedkigdesi ügei aci erdem ki magtan saisyagad ene nom ki itegetügei geju idgan sorgaba.. aliba nom onsgicid ki Borqan bügün qamagalana.. (34 I 39 – 51 · II 1 – 3)

舍利弗よ、上方世界には、梵音仏、宿王仏、香上仏、香光仏、大焰肩仏、雜色寶華嚴身仏、娑羅樹王仏、寶華德仏、見一切義仏、如須彌山仏などがある。それらのガンジス河の砂の数のように多くの仏たちが、それぞれの国土において、広長舌で、[広長舌の仏の説法は] あまねく三千大千世界を覆っている。すべての仏が、生きとし生けるものすべてに、説かれた真実の法や、不可思議で誉め称えられている功德を信じるように教えた。[すべての仏が] 法を念誦する人々を護持するはずである。

[念仏の由縁]

舍利弗。於汝意云何。何故名為。一切諸佛。所護念經。

Šaribudari e cinu sanagan tu kerkin? yamar ocir dur aliba Borqad ene nom ki onsgicid ki

qamagaladag boi? (34Ⅲ42 - 44)

舍利弗よ、あなたはどのように考えているのか。どうして、すべての仏が、この法（阿彌陀經）や念誦する人々を護持するのか。

舍利弗。若有善男子善女人。聞是諸佛諸說名。及經名者。是諸善男子善女人。皆為一切諸佛。共所護念。皆得不退轉。於阿耨多羅三藐三菩提。

Šaribudari e tedeger süsügtü eretei itegeltü emegteicüd ene nom ki sonusju uilagagcid kiged Borqan u- neres ki sonusugcid.. (34Ⅳ15 - 18) edeger susugten eregtei itegedeg emegteicüd tedeger olan borqan u- qamagalalta bar nom bisilgagsagar bügün yir erkijü ülü bocaqu.. arhadi samyag sambodiya gi olqu boluna.. (34Ⅴ1 - 5)

舍利弗よ、それらの信仰がある善男子や帰依がある善女子たちは、この法（阿彌陀經）を聞き、称讃する。仏の名号を聞いた信仰がある善男子や帰依がある善女子は、多くの仏に護られて法を修行して、不退転の境地に入る。[こうして] この [ような] 無上正等覺の悟り (anuttarā samyak-sambodhiṃ 阿耨多羅三藐三菩提) を得るのである。

[念仏の大切さ]

是故舍利弗。汝等皆當。信受我語。及諸佛諸說。

yimu ucir ece Šaribudari ta bügüdeger ergebsi minu nomlal ba olan Borqad un nomlal ki dagaqu keregtei.. (34Ⅴ25 - 27)

このような理由から、舍利弗よ、あなたたちはすべて、必ず私 [釈尊] の教えと多くの仏の教えに従う必要がある。

[再び発願のすすめ]

舍利弗。若有人。已發願。今發願。當發願。欲生阿彌陀佛國者。是諸人等。皆得不退轉。於阿耨多羅三藐三菩提。於彼國土。若已生。若今生。若當生。是故舍利弗。諸善男子善女人。若有信者。應當發願。生彼國土。

Šaribudari e kerbe nige kümün erde dü irügel talbigsan otu irügel talbigsan iregedüi du irügel talbigsan ni cöm Amida Borqan u- orun du ociju türüye kemebesu tedeger jerge in gümüs bocaqu irekü ügei ber baraqu ügei.. arhatei samyag sambodiya ki oluna.. mün jü cöm tere orun tu ociju cidana.. (35Ⅰ2 - 10)

yimu ucir ece Šaribudari sain sedkil tü eregtei süsügtü emegteicüd egün ki itegeged irügel talbigsagar tare orun tu ociju türükü ni damjig ügei yom.. (35Ⅰ31 - 34)

舍利弗よ、過去に発願し、今、発願し、これから未来に発願しようとしている人々が、本当に阿彌陀仏の国土に往生しようと願うならば、不退転の境地にとどまることなく、こ

の無上正等覚の悟りを得ることができる。従って、過去にしても、現在にしても、未来にしても必ずその国土（極楽世界）に往生することができる。

従って、舍利弗よ、優しい心をもっている善男子と信仰のある善女子は、[阿彌陀仏の]本願を信じて、願いを起こせば、その国土に往生することは疑う余地がない。

[諸仏による称讃の言葉]

舍利弗。如我今者。稱讚諸佛。不可思議功德。彼諸佛等。亦稱說我。不可思議功德。而作是言。釋迦牟尼佛。能為甚難。希有之事。能於娑婆國土。五濁惡世。劫濁。見濁。煩惱濁。衆生濁。命濁中。得阿耨多羅三藐三菩提。為諸衆生。說是一切世間。難信之法。

Šaribudari bi edüge edeger olan Borqad un sedkigdesi ügei aci erdem ki magtan saisiyamoi..⁽¹⁸⁾
(35 I 52 – II 2)

tedeger olan borqad basa minu sedkigdesi ügei aci erdem ki magtan saisiyamoi.. tedeger borqad nomlarun.. Šaqimoni Borqan qamug kücirtei büged yarsigtai olan ülü toqiyalduqu kereg ki üiletü n enekü sambutib deki gasalangtu yirtinjü in.. tabon magu juil baiqu kalba in bordag üjel un bordag jubaqu in bordag qamog amitan u- bordag amin u- bordag un totura.. qamog degetu borqan u- mür bolqu arhadi samyang sambodiya gi olugsan anu asuru gaiqamsig bolai.. (35III37 – 47)

olan amitan u- tosatu amiba yirtinjü in qaomg amitan cöm idegeküye berge arga boluna..
(35V 45 – 46)

舍利弗よ、私（釈尊）はいま、これらの諸仏の不可思議の功德を誉め称えた。

それらの諸仏は、また私の不可思議の功德を誉め称えた。それらの諸仏は[次のように]説いている。

釈迦牟尼仏は、はなはだ難しい、最も面倒な多くの希有なことをなすとげた。このような娑婆世界という苦痛に満ちた国土には、五つの汚れ（五濁）がある。すなわち [1] 劫の濁であり、[2] 見の濁であり、[3] 煩惱の濁であり、[4] 衆生の濁であり、[5] 命の濁である。[娑婆世界において] 最高の仏道である無上正等覚の悟り（阿耨多羅三藐三菩提 anuttarā samyak-sambodhiṃ）を得たことは非常に希有なことである。

すべての世間の一切衆生のために、信じ難い之法を [説かれた]。

[釈尊の結語]

舍利弗。當知我於。五濁惡世。行此難事。得阿耨多羅三藐三菩提。為一切世間。說此難信之法。是為甚難。

Šaribudari e ta medekü keregtei.. bi eneku tabun buqirtu jubalangtu yirtinjü in qamug amitan u- tosa tu yimürkü sedkigdesi ügei arga gi nomlaqu anu berke ece berke bolai.. (36 II 22 – 29)

舍利弗よ、あなたは知らなければならない。私（釈尊）は、苦の世間において、このよ

うな五つの最も難しい、極めて難しいことをなすとげ、無上正等覚の悟りを得、すべての世間の一切衆生のために、このような難信の教えを説いたのは、[私自身にとっても]極めて難しいことであった。

[5. 聴衆の喜び]

佛説此經已。舍利弗。及諸比丘。一切世間。天人阿修羅等。聞佛所説。歡喜信受。作禮而去。

佛説阿彌陀經 終

Borqan bagsi ene 《Qutugtu Amirda Borqan u- caglası ügei urtu nasutu yege külgen sotur》 ki nomlaqu du Šaribudari bolun tedeger gelong qowarag aliba yirtinjü in degri kümün asuri jerge baijai.. (36Ⅲ16 – 20)

Borqan u- nomlagsan ki sonusugad bayasgulangtai bar küliyen abcu yosulan salju odbai.. (36Ⅲ42 – 43)

釈尊がこの『聖阿彌陀仏の無量寿である大乘経』を説かれた[時]、舍利弗および大乘の比丘、あらゆる世界の天、人間、阿修羅などがいた。

[いあわせたものはすべて] 釈尊が説いた教えを聞いて、喜んで信受し、礼拝して立ち去った。

おわりに

以上は、モンゴル語訳『聖阿彌陀仏の大乘経』の日本語翻訳である。この翻訳の作業を通して、モンゴル仏教は、チベット仏教だけを受け入れたのではなく、中国仏教も並行して受け入れたことが明らかになった。

『聖阿彌陀仏の大乘経』で注目される場所は、「聖」と「仏」と「大乘」の3点であり、ここにモンゴル仏教の特徴が見られる。

「聖」は、モンゴル語でホトクト (Qutugtu) といい、活仏を意味する⁽⁴⁹⁾。モンゴル仏教ではホトクトは、仏や菩薩の化身であり、僧俗に幸福を与えると信じられている。

『聖阿彌陀仏の大乘経』には、サンスクリット語の影響が多く残っている。例えば、阿彌陀仏のことをアミダボルカン (Amida Borqan)、文殊菩薩のことをマンシルボルカン (Mansir Borqan 文殊仏)、経典のことをソドル (sodor=sūtra)、活仏のことをホトクト (Qutugtu) と呼ぶ点などである。これらのアミダボルカンやマンシルボルカンやソドルやホトクトなど

のモンゴル語は、サンスクリット語から変化したものであると考えられる。

13世紀の初期から、モンゴル帝国は、中国仏教の耶律楚材居士と海雲法師から、そしてカシミール的那摩国師から仏教を受容してきた⁽²⁰⁾。当時のモンゴル僧は、サンスクリット語に精通しており、チベット語や漢文などから経典をモンゴル語に翻訳する時、サンスクリット語で表わされた固有名詞を借用することができたと考えられる。この『聖阿弥陀仏の大乗経』の中でも、モンゴル語に、多くのサンスクリット語を借用していることが分かる。

「仏」を加えた理由は、モンゴル人の宗教意識では、『阿弥陀経』というよりは、「仏」を加えて付けた方が、モンゴル仏教徒にとって実感し納得しやすかった点にあると考えられる。

モンゴル人の信仰意識では、菩薩信仰より仏の信仰の方が、馴染みやすかったように思われる。例えば、上述した『聖阿弥陀仏の大乗経』の中に現われる文殊菩薩を、モンゴル仏教では文殊菩薩ではなくマンシルボルカン（文殊仏）と呼んでいる点である。中国人の宗教意識では、仏に対する信仰より菩薩に対する信仰の方が、受け入れやすかったようである。一般の中国人は日常生活で、常に優しい人を「菩薩心腸」という。これは菩薩の慈悲心をもっている人という意味である。逆にモンゴル人は優しい人を、モンゴル語でボルカノセドギルタイ（Boruqa usdgetai）と呼ぶ。これは仏心がある人を意味する。このようにモンゴルの地では、日常生活に仏への信仰が色濃く残っている。

「大乘」を加えたのは、わたし一人の成仏を求めるのではなく、生けるものすべてと同時に成仏しようという、大乘仏教の思想を表明する点にあると考えられる。釈尊が『阿弥陀経』の中で舍利弗に対して、

過去に発願し、今、発願し、未来に発願しようとしている人々が、本当に阿弥陀仏の国土に往生しようと願うならば、不退転の境地にとどまることなく、この無上正等覚の悟りを得ることができる。

と説いているところに、大乘の思想をよく表明している。

日本には「悪人正機」という、浄土真宗の宗教意識がある。善人でも悪人でも、人は誰でも死ねば極楽世界に成仏できるという考え方は、『阿弥陀経』の影響を大きく受けたものと思われる。これもモンゴル仏教・チベット仏教・日本仏教などの、大乘仏教における平等思想を現わしていると考えられる。

以上、取り上げたモンゴル語訳『聖阿弥陀仏の大乗経』の他に、内蒙古図書館に所蔵されている『聖無量寿命と智慧者と名付ける大乘経』（Qutugtu Caglası üge nasun kiged bilge bilig tü neretü yeke külgen sodor orusibai）⁽²¹⁾によれば、釈尊は、極楽世界を舍利弗に対して説いたのではなく、文殊菩薩に対して説いたとしている。これは1つの注目点であると考えられる。この問題については、詳細に検討する必要があると思われる。

因みに、中国仏教の浄土関係の文献の『浄土宗大典』⁽²²⁾には、中国の東漢から現代に至るまで、191種類の浄土関係の資料が収蔵されている。そして内容を4つに分類している。

すなわち、①経論を中国語に翻訳したもの、②経論を解釈したもの、③諸師が著述した論書、④伝記系譜などである。今日では、中国仏教の居士たちによる阿弥陀仏信仰の著述は、黄念祖『大乘無量寿経白話解』²³⁾などが挙げられる。現代中国仏教徒の宗教意識では、この世で造った罪悪を消滅することができなくても、「業」をもったまま極楽世界に往生することができると考えている。中国仏教徒は、この考え方を「帶業往生」と呼んでいる。この帶業往生が、現代の中国仏教徒に特徴的な主張である。

この問題について、『阿弥陀経』は、極楽世界には、種々の珍しい鳥がたくさん飛んでいる。白鳥が舞い、孔雀が羽根を広げ、鸚鵡が人の口まねをして鳴き、二頭一身の命命鳥が甲高い声で鳴いている。これらの鳥は昼も夜も絶えることなく、いつも妙なる鳴き声であり和している。歌声は、ただ単に鳥の歌声に過ぎないのではない。歌声は、悟りの道に向かわせる5つのすぐれた働きである五根・五力や、悟りに役立つ七菩提分や、八聖道の道理などを説き明かしている。極楽世界の生けるものは一切、これらの鳥の歌声を聞き終わると、すべてが仏宝を念じ、法宝を念じ、僧宝を念じると説いている。

このように『阿弥陀経』に説かれていることから考えれば、極楽世界に往生しても、極楽世界での修行が必要であることが分かる。もしも、修行する必要がなければ、往生した極楽世界でも続けて、なぜ『三十七道品経』に従って修行するのだろうか。『三十七道品経』に従って修行するということは、悪業を身に付けたまま往生した衆生は、極楽世界でも引き続いて修行する必要があるからである。ここに、生ける衆生が、悪業を身に付けたまま往生することに関連して生起する問題を解決する糸口があると考えられる。詳しくは、拙論『中国における「念仏打七」信仰の復興と現状』²⁴⁾に譲りたい。

今後、中国・日本・チベット・モンゴル諸地域に生きている阿弥陀仏信仰のあり様を比較検討し、さらに詳細に研究して行きたい。今は取り敢えず稿を閉じることにする。

《注》

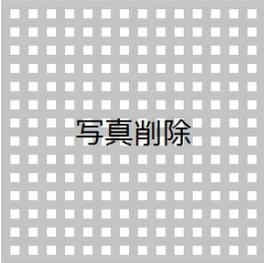
- (1) マクス・ミュラー、南条文雄が刊行した『阿弥陀経』のサンスクリット原文としては、(F. Max Müller and Bunyu Nanjio: Sukhāvati Vyūha, Description of Sukhāvati, the Land of Bliss, Anecdota, Aryan Series, vol. I, part II, Oxford 1883.)。矢吹慶輝『阿弥陀仏の研究』(明治書院、昭和12年)。荻原雲来・河川慧海『梵蔵和英合璧浄土三部経』(大東出版社、昭和6年初版、昭和36年再版)。寺本婉雅訳注『梵蔵和三体合璧仏説無量寿経阿弥陀経』(丙午出版社、昭和3年)。藤田宏達『原始浄土思想の研究』(岩波書店、1970年)などがあり、一々枚挙に暇がない。
- (2) 畝部俊英『阿弥陀経』依報段試解(東本願寺出版部、2002年) iii 頁
- (3) 嘉木揚凱朝「モンゴルにおける阿弥陀仏の信仰」(『印度学佛教学研究』第51巻第1号、平成14年) 279～282 頁
- (4) プルジキン・エルキムバツ訳『聖阿弥陀仏の大乗経』(Qutugtu Amida Borqan u- yeke külgensodor orusibai) 北京師範大学出版社、1993年
- (5) 同上4 頁
- (6) 同上5 頁

- (7) 寺本婉雅訳注『梵蔵和三体合璧仏説無量寿経阿弥陀経』（丙午出版社、昭和3年）1～10頁、日本語訳は93～105頁
- (8) 同上1～10頁、日本語訳は93～105頁
- (9) 鳩摩羅什訳『佛説阿弥陀経』（大正新修大蔵経）366～367頁
- (10) 大比丘 (yeke gelong qowarag) の中の「gelong」は、チベット語では、比丘の意味である。通常は、比丘をモンゴル語では、アヤガ・タヒリク (ayaga takimkig) という。中村元・早島鏡正・紀野一義訳注《浄土三部経》下（岩波文庫、1995年）121頁では、修行僧と訳している。
- (11) 大阿羅漢 (degedü siditen) の阿羅漢をモンゴル語では、アヒシツゲン (aqui sitügen) と訳している。永遠に信頼できる者の意味である。
- (12) 中村元・早島鏡正・紀野一義訳注《浄土三部経》下（岩波文庫、1995年）121頁では、大弟子 (yege šabi) の弟子を日本語訳では、求道者と呼んでいる。
- (13) モンゴル語訳は、文殊師利法王 (Manžusari nom nu qagan) であるが、チベット語では、文殊童子 (hJam dpal gshon nu) ととっている。日本語訳は、ほとんど文殊師利法王子 (Mañjuśrī kumārabhūta) となっている。
- (14) 由木義文『阿弥陀経』（講談社、1991年）64頁によれば、昼の食事のときに極楽国土に帰ることになっている。
- (15) モンゴル語訳だけ兔 (tegelei) となっている理由は不明である。漢訳は舍利と訳している。日本語訳は百舌鳥としていることもある。またチベット語訳では、鸚鵡 (nan) 白鳥 (khrun khrud)、孔雀 (rma bya) であって、百舌鳥 (jagun keltu)、妙音鳥 (galbingga 迦陵頻伽)、命鳥 (qo-s medeldü) などが省略されている。
- (16) チベット語訳では、昼3度と (ñin lan gsum) 夜3度 (mtshan lan gsum) となっている。昼と夜の6時とは、仏教で、昼夜を六回に分けて修行することをいう。
- (17) プルジキン・エルキムバツ訳『聖阿弥陀仏の大乘経』（Qutugtu Amida borqan u- yeke küngen sodor orusibai) 北京師範大学出版社、1993年、60～62頁のモンゴル語訳文では、もろもろの聖なる菩薩たち (olan Bodisatba bogda nar) になっているが、漢訳『佛説阿弥陀経』には菩薩がない。
- (18) (Šaribudari bi edüge edeger olan borqad un sedkigdesi ügei aci erdem ki magtan saisiyamo..) この2行がモンゴル語訳では、重ねられている。
- (19) 詳細は、拙論『チベットとモンゴル仏教における活仏の由来』（『同朋大学佛教文化研究所紀要』第21号、2001年）19～49頁
- (20) 詳細は、拙論『モンゴル仏教の成立過程とその文化』（2000年、愛知学院大学で取得した学位論文、未出版）
- (21) 『聖無量寿命と智慧者と名付ける大乘経』（Qutugtu Caglası üge nasun kiged bilge bilig tü neretü yeke küngen sodor orusibai) 中国内蒙古図書館に所蔵されている。この經典は、中国内蒙古図書館の阿憂爾氏の協力で複写文を入手することができた。因みに、阿難の問いに対して、釈尊が『無量寿経』を説き、王舎城の偉提希夫人の請いに応じて『観無量寿経』を説かれたとされる。
- (22) 『浄土宗大典』（中国仏教經典叢刊、1994年）12冊
- (23) 黄念祖『大乘無量寿経白話解』（中国上海新聞出版社、1994年）
- (24) 詳細は、拙論「中国における『念仏打七』信仰の復興と現状」（『同朋大学佛教文化研究所紀要』第20号、2000年）131～148頁。また拙論「中国における『念仏打七』信仰の形成」（『東海佛教』1999年、第44輯）62～76頁

日本学術振興会外国人特別研究員（同朋大学佛教文化研究所）文部省科学研究助成費による研究成果の一部



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



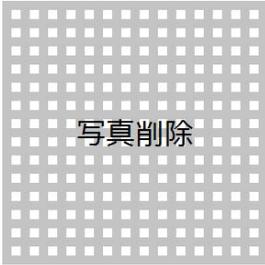
写真削除



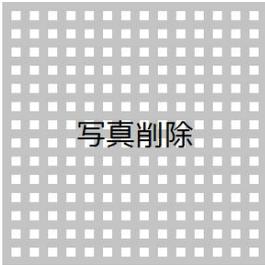
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



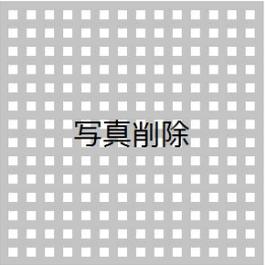
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



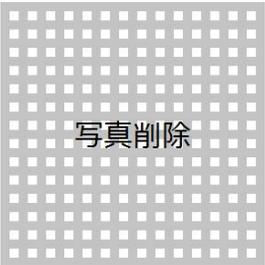
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



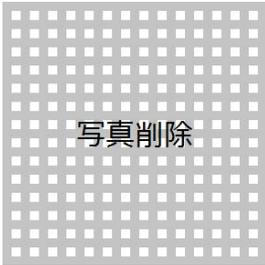
写真削除



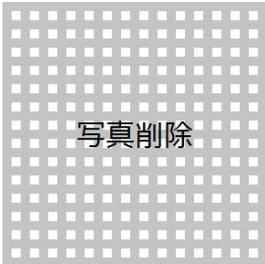
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



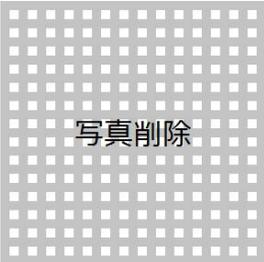
写真削除



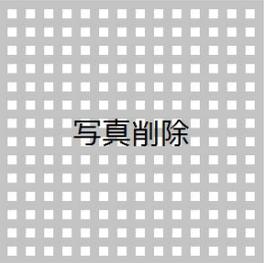
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



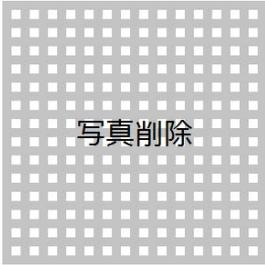
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



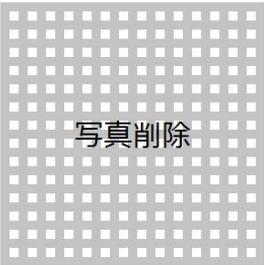
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



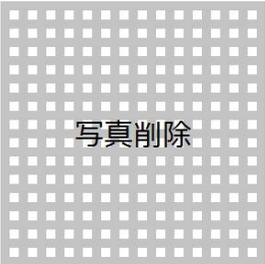
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除

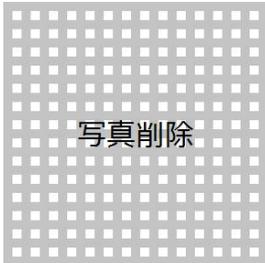
写真削除

写真削除

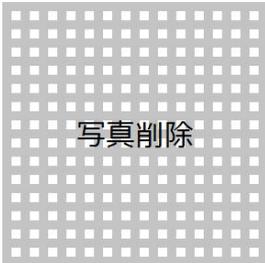
写真削除

写真削除

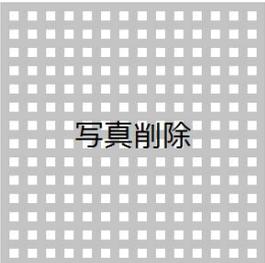
写真削除



写真削除



写真削除



写真削除



写真削除